

登録コード	UAF59500	開講年度	2026			
授業題目	応用行動分析学演習				担当教員	奥村 真衣子
					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3時限	
			授業形態	演習		
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 UACari・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 6 UACari・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 5 UACari・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 5 UACari・総人社・心理長野・臨床心理学					
	【心理】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				⇔	行動論の視点から、情緒面や行動面に困難を持つ者の心理を理解し、援助方法を提案することができる。
	【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。				⇔	情緒面や行動面に困難を持つ者のアセスメントの方法を学び、アセスメントから心理状態を分析し、支援立案できる力を身につける。
	【心理】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。				⇔	情緒面や行動面に困難を持つ者への支援において、心理・教育・家庭等との連携の必要性とその方法を理解し、心理の専門職としての役割を認識し・支援を提案できる力を身につける。
(2)授業の概要	情緒面や行動面に困難を持つ者の心理や援助方法について、主に行動論の視点から理解を深める。受講者は論文講読や事例検討、模擬演習により、行動の記録や分析、援助立案、援助技法を学ぶ。また、シングル・ケースにおける研究デザインを学び、研究的実践ができるようにする。					
(3)授業計画	第1回：ガイダンスー本授業の進め方ー 第2回：シングルケースデザインの研究 第3回：研究デザイナーー反転デザイン・多層ベースラインデザイナーー 第4回：研究デザイナーー基準変更デザイン・条件交替デザイナーー 第5回：行動の記録ー観察法ー 第6回：行動の記録ー記録法ー 第7回：行動の分析・支援立案ー記録の解釈ー 第8回：行動の分析・支援立案ー適切行動を増やすー 第9回：行動技法の実践ーシェイピング・プロンプト・モデリングなどー 第10回：行動技法の実践ートークンエコノミー法・行動契約などー 第11回：行動技法の実践ー段階的エクスポージャー・刺激フェイディング法などー 第12回：情緒障害の事例検討ー場面緘黙ー 第13回：情緒障害の事例検討ー不登校ー 第14回：情緒障害の事例検討ー社交不安ー 第15回：まとめ					
(4)成績評価の方法	演習課題への取り組み（50%）とレポート（50%）により総合的に判断する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可					
(5)成績評価の基準	1) 行動理論に関連する諸理論の基礎的理解 2) 行動理論に関連する諸理論の発展的理解 3) 発表における論旨の適切性 4) ディスカッションへの協働的な関与 5) オリジナルの見解提示 上記の内、全てを満たしていれば「卓越している」、4項目を満たしていれば「かなり上にある」、3項目を満たしていれば「やや上にある」、2項目を満たしていれば「水準にある」。					
(6)事前事後学習の内容	参考文献において授業に関連する内容や自身が関心のある内容を学習することを勧める。また、日ごろ出会う臨床事例や自身の経験を行動理論の視点から整理し、理論と実践の関連付けに努めること。 この授業は90時間の学習を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。					
(7)履修上の注意	特になし					
(8)質問,相談への対応	奥村研究室（東校舎2階） Tel: 026-238-4206 E-mail: maio@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	指定しない					
【参考書】	・ミルテンバーガー著/園山繁樹他訳（2006）「行動変容法入門」二瓶社 ・本郷一夫著,編集,監修（2018）「実践研究の理論と方法」金子書房 ・リンジー・バークマン著/園山繁樹監訳（2018）「場面緘黙の子どもの治療マニュアルー統合的行動アプローチー」二瓶社 ・エイミー・コトラー著/丹明彦監訳（2019）「場面緘黙の子どものアセスメントと支援ー心理師・教師・保護者のためのガイドブックー」遠見書房 ・クリストファー・カーニー著/今井必生訳（2018）「不登校の子どもに親ができること：4つのタイプ別対処法」創元社 ・クリストファー・カーニー, アン・マリー・アルバーノ著/佐藤容子, 佐藤寛監訳（2014）「不登校校の認知行動療法 セラピストマニュアル」岩崎学術出版社					